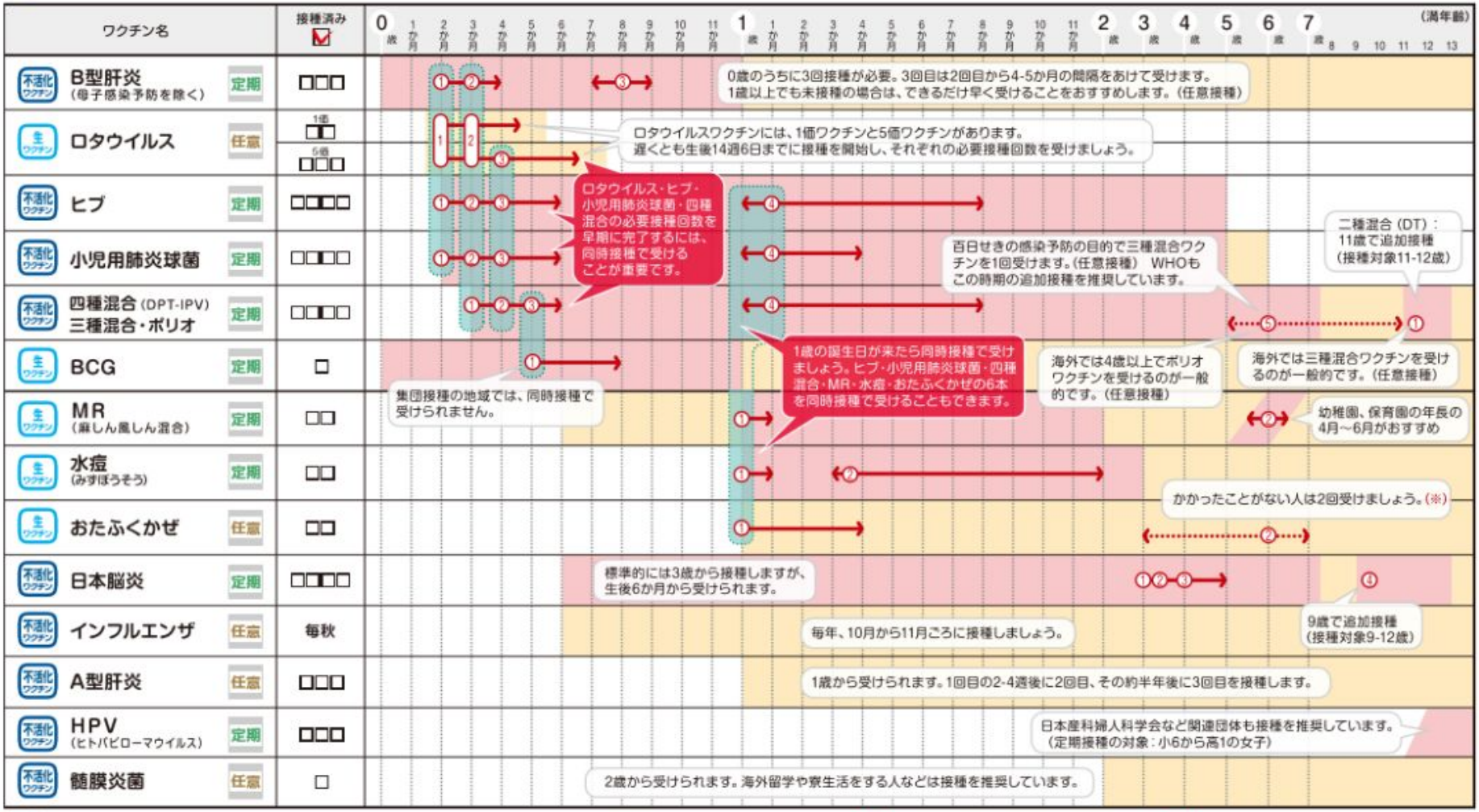
2019年4月版

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。



不活化ワクチン　生ワクチン

定期　定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。

任意　多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

同時接種:同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

定期予防接種の対象年齢

任意接種の接種できる年齢

おすすめ接種時期(数字は接種回数)

添付文書に記載のないおすすめ接種時期

(※) 添付文書に記載はないが、接種を推奨

●次にほかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

詳しい情報は http://www.know-vpd.jp/ VPD 検索

2019年2月作成

© NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会